



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月6日

上場会社名 京阪ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9045 URL <https://www.keihan-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石丸 昌宏
 問合せ先責任者 (役職名) 経営統括室 経理部長 (氏名) 城野 教雄 TEL 06-6944-2527
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	44,136	△45.1	△5,620	—	△5,937	—	△3,403	—
2020年3月期第1四半期	80,331	2.1	12,207	17.6	12,204	17.8	8,678	25.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △4,391百万円(ー%) 2020年3月期第1四半期 8,345百万円(9.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△31.76	—
2020年3月期第1四半期	80.97	80.95

(注) 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	748,340	247,763	32.5
2020年3月期	732,824	254,058	34.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 243,564百万円 2020年3月期 249,736百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	17.50	—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	113,182,703株	2020年3月期	113,182,703株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	5,997,786株	2020年3月期	5,997,108株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	107,185,038株	2020年3月期1Q	107,188,100株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、2021年3月期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想の算定が困難であるため未定としております。なお、当該理由等は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

「2021年3月期第1四半期 決算補足資料」は本日、当社ウェブサイトに掲載するとともに、TDnetで開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間につきましては、当社グループでは、各事業にわたりすべてのお客さまに「安全安心」にご利用いただけるよう新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施しながら営業活動を行い、業績の向上に努めました。しかしながら、同感染症拡大によるインバウンド需要の減少や国内における外出自粛の影響から大幅な減収となりました。これらの結果、営業収益は44,136百万円（前年同期比36,194百万円、45.1%減）、営業損失は5,620百万円（前年同期は12,207百万円の営業利益）となり、これに営業外損益を加減した経常損失は5,937百万円（前年同期は12,204百万円の経常利益）となりました。さらに、これに特別損益を加減し、法人税等及び非支配株主に帰属する四半期純損失を控除した親会社株主に帰属する四半期純損失は3,403百万円（前年同期は8,678百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①運輸業

鉄道事業やバス事業において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により旅客数が大幅に減少したほか、京阪電気鉄道(株)が運営するひらかたパークの休園などもあり、減収となりました。

これらの結果、運輸業全体の営業収益は13,413百万円（前年同期比11,138百万円、45.4%減）となり、営業損失は4,991百万円（前年同期は4,760百万円の営業利益）となりました。

②不動産業

不動産販売業におきましては、「南草津プリムタウン」などの土地建物の販売が堅調に推移しましたが、前年同期の「ザ・京都レジデンス御所東」「北浜ミッドタワー」などのマンション販売の反動により、減収となりました。

不動産賃貸業におきましては、前期に取得した「GOOD NATURE STATION（グッドネイチャーステーション）」「虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー」（当社は区分所有権を保有）が通期寄与し、増収となりました。

これらの結果、不動産業全体の営業収益は16,457百万円（前年同期比10,075百万円、38.0%減）となり、営業利益は3,681百万円（前年同期比1,365百万円、27.1%減）となりました。

③流通業

百貨店業やショッピングモールの経営におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発令を受け、各店舗・施設の休業や営業規模の縮小を実施したことなどにより、減収となりました。

ストア業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による鉄道利用者の減少に伴うCVS事業や駅ビジネス事業の苦戦などにより減収となりました。

これらの結果、流通業全体の営業収益は17,361百万円（前年同期比6,707百万円、27.9%減）となり、営業損失は277百万円（前年同期は866百万円の営業利益）となりました。

④レジャー・サービス業

ホテル事業におきましては、2020年4月3日に「ホテル京阪名古屋」を開業しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発令を受け、各店舗の休業や営業規模の縮小を実施したことなどにより、前年同期と比較して稼働率が大きく低下いたしました。

これらの結果、レジャー・サービス業全体の営業収益は863百万円（前年同期比8,259百万円、90.5%減）となり、営業損失は3,230百万円（前年同期は965百万円の営業利益）となりました。

⑤その他の事業

その他の事業におきましては、前期に開業した「GOOD NATURE STATION」が通期寄与し、その他の事業全体の営業収益は570百万円（前年同期比73百万円、14.7%増）となりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による同施設の一部休業・営業規模の縮小などにより、営業損失は413百万円（前年同期は30百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金や販売土地及び建物が増加したことなどにより、前連結会計年度末から15,516百万円(2.1%)増加し、748,340百万円となりました。

負債につきましては、有利子負債が増加したことなどにより、前連結会計年度末から21,812百万円(4.6%)増加し、500,577百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が減少したことなどにより、前連結会計年度末から6,295百万円(2.5%)減少し、247,763百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①当期の連結業績予想の公表延期について

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから「未定」としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

②感染症拡大が当期の連結業績に与える影響について

緊急事態宣言は解除されたものの、関西圏においても感染者が再び増加するなど感染症収束の見通しは不透明であり、移動の自粛ムードは継続しております。また、海外においても感染症は拡大しており、インバウンド需要も回復の兆しは依然見えません。そのため、今後も鉄道事業・バス事業の旅客数やホテル事業の稼働率が低調に推移した場合、業績に大きな影響を与える可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,918	28,114
受取手形及び売掛金	21,947	17,820
有価証券	2,178	1,882
販売土地及び建物	123,881	130,509
商品	1,836	1,653
その他	12,617	12,287
貸倒引当金	△364	△470
流動資産合計	177,016	191,797
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	222,247	220,021
機械装置及び運搬具(純額)	17,412	17,082
土地	223,746	223,746
建設仮勘定	5,477	7,398
その他(純額)	10,166	9,952
有形固定資産合計	479,049	478,201
無形固定資産		
投資その他の資産	8,576	8,276
投資有価証券	44,680	43,540
長期貸付金	411	404
繰延税金資産	10,163	12,780
退職給付に係る資産	598	622
その他	12,614	12,992
貸倒引当金	△286	△276
投資その他の資産合計	68,182	70,064
固定資産合計	555,808	556,542
資産合計	732,824	748,340

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,450	8,645
短期借入金	75,224	75,995
短期社債	7,999	14,498
1年内償還予定の社債	20,039	20,034
未払法人税等	4,187	1,973
前受金	6,293	11,514
賞与引当金	2,971	1,281
商品券等引換損失引当金	702	732
その他	40,827	37,200
流動負債合計	167,695	171,877
固定負債		
社債	80,000	80,000
長期借入金	143,869	161,367
長期末払金	369	338
繰延税金負債	8,825	8,096
再評価に係る繰延税金負債	33,046	33,046
役員退職慰労引当金	228	211
退職給付に係る負債	19,093	18,953
その他	25,636	26,686
固定負債合計	311,069	328,700
負債合計	478,765	500,577
純資産の部		
株主資本		
資本金	51,466	51,466
資本剰余金	28,792	28,792
利益剰余金	150,926	145,647
自己株式	△21,640	△21,643
株主資本合計	209,545	204,262
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,648	5,746
土地再評価差額金	36,375	36,375
為替換算調整勘定	71	△71
退職給付に係る調整累計額	△2,904	△2,747
その他の包括利益累計額合計	40,191	39,302
新株予約権	110	110
非支配株主持分	4,212	4,087
純資産合計	254,058	247,763
負債純資産合計	732,824	748,340

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業収益	80,331	44,136
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	57,904	40,323
販売費及び一般管理費	10,219	9,434
営業費合計	68,123	49,757
営業利益又は営業損失(△)	12,207	△5,620
営業外収益		
受取利息	14	11
受取配当金	545	322
雑収入	220	261
営業外収益合計	779	595
営業外費用		
支払利息	576	513
持分法による投資損失	20	2
雑支出	185	396
営業外費用合計	782	912
経常利益又は経常損失(△)	12,204	△5,937
特別利益		
投資有価証券売却益	408	2,127
補助金	155	173
工事負担金等受入額	—	2
固定資産売却益	10	1
その他	110	—
特別利益合計	684	2,304
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による損失	—	947
固定資産除却損	83	41
固定資産圧縮損	20	4
特別損失合計	104	992
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	12,784	△4,625
法人税、住民税及び事業税	4,033	1,917
法人税等調整額	△95	△3,033
法人税等合計	3,938	△1,116
四半期純利益又は四半期純損失(△)	8,846	△3,509
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	167	△105
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	8,678	△3,403

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	8,846	△3,509
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△608	△895
退職給付に係る調整額	75	157
持分法適用会社に対する持分相当額	32	△143
その他の包括利益合計	△500	△881
四半期包括利益	8,345	△4,391
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,180	△4,292
非支配株主に係る四半期包括利益	164	△98

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響の収束時期等の仮定について、重要な変更はありません。